

友好交流の職員、秦徳勲(ジントフン)さん 日本生活レポート
第三回 (2018. 6. 1)

目 次

1. 内容紹介
2. 京畿道施策紹介（週間政策会議について）
3. 韓国の出前料理文化について
4. 私が通っているテニスクラブの親睦会

[1. 内容紹介]

こんにちは。韓国の京畿道庁から交流公務員として派遣されている秦徳勲(ジントフン)です。今回は、京畿道知事、副知事、各室局長を対象に新しい施策を立てて説明や意見をきく週間政策会議、韓国の出前料理文化、私が通っている日本のテニスクラブの親睦会について紹介します。

[2. 京畿道施策紹介－週間政策会議について]

京畿道では毎週、各部署で構想している事業の推進方針や推進中の事業について、知事、副知事3人、各室局長の意見をきく週間政策会議を開催しています。

週間政策会議は、行事の計画、優秀な政策事例、懸案事業などの報告、知事が発表を指示した案件、過去発表した案に対する推進状況、出先機関の政策提案などについて発表します。政策企画官の司会で毎週金曜日午前9時から1時間30分ほど行われ、会議の様子は京畿道庁内テレビとインターネット放送で生中継され、職員たちはインターネットチャットルームで意見を提示することができます。

担当課は、A4用紙1枚に内容を要約してモニター画面に映し、5分以内で説明をします。その後、知事をはじめ、副知事3人、各室局長などの質疑応答を通じて、事業方針の改善及び補完、担当者のための激励などが行われます。毎週、発表した案件のうち優秀発表課題を選び、知事からピザ5枚と飲み物がプレゼントされます。プレゼントは金曜日の午後3時頃、選ばれた課に配達され、おやつとして職員全員でシェアして食べます。

週間政策会議の導入初期には、職員は知事の前で発表するのに尻込みして、指示により受動的に発表していました。現在は、事業の方向性を提示することで試行錯誤の手間が減って予算も取りやすくなるとともに、担当課及び自分のPRなどに効果があるということから、職員による自発的な発表が行われています。

[3. 韓国の出前料理文化について]

京畿道庁では、退勤時間の6時になると、会議用の机に小さなコンロとともになべが準備されます。午後5時くらいになると、課の一番末席の職員が、夕食の人数を確認して出前を手配します。京畿道庁の数多くの課が出前料理を注文するので、少しでも注文連絡が遅れると、1時間以上待つこととなります。配達される料理は、キムチ鍋、みそ鍋、スン

ドゥブ鍋、ダルボクウム鍋、中華料理ではジャージャー麺、ちゃんぽんなど粉ものが多いです。最近では、若い職員たちはハンバーガー、トンカツ、寿司などを注文します。これは、上の世代と葛藤が生じる原因でもあります。

京畿道庁では、毎週水曜日を、残業をしない「家庭の日」としており、特別な仕事がないければ定時に帰ります。しかし、私たちの世代（50代以上）の多くは、早く家に帰ることに消極的です。妻から嫌味を言われて、喧嘩をすることが多いからです。そこで、家庭の平和のために、必死に友達を探して一杯飲んで遅く帰ったりします。でも約束が取れない日は、仕方なく早く帰ります。私と妻はお酒が大好きなので、家庭の日では配達料理を注文して家で一杯します。主に豚足を注文して焼酎と一緒に食べます。豚足を注文すると、キムチ、ニンニク、味噌、サンチュ、素麺、スープ、箸、焼酎の紙カップ、片付け用のビニール袋まで全部そろって届くので、特別な準備の必要がなく、すぐ食べられます。食べた後は、そのまま袋に入れて捨てます。食器の片づけも必要ないです。そのため、主婦たちは配達料理を好みます。妻と私は、豚足をはじめ、ボッサム、チキン、中華料理など、お酒と合う料理を注文して食べます。

息子が軍隊生活をする時は毎月面会に行きます。昔、私の時代では、母の味が恋しかったので、母が準備してきたいろんな料理を面会時間の最初から最後まで食べた記憶があります。しかし今は、お金さえあれば、軍隊の面会室の壁に貼っているチラシを見て料理を注文して食べます。妻と息子、両方満足したかも知れません。

私の娘は大学2年生で、学校の付近で一人暮らしをしていて週末を利用して帰ります。一週間ぶりに家に帰ると、配達料理を頼んで食べます。注文する料理もピザ、チキン、トッポッキなど様々です。食べ残りが出たら私の出番で、ビールと一緒に全部食べてしまいます。

このように韓国にはいろいろな出前料理があり、ほとんどの店が24時間営業なので、携帯電話とクレジットカードさえあれば、いつでもどこでも食べられます。韓国に来たら公園に敷物を敷いて配達料理を注文してみましょう。遠くの方でバイク音をさせて出前の人走って来るとおもいます。

[4. 私が通っているテニスクラブの親睦会]

私は、テニスが好きなので、日本に来てテニスクラブを探して登録しました。土日や祝日になるとテニスを楽しんでいます。

テニスの会員は、年に何回か、親善テニス試合と飲み会を兼ねた親睦会などの行事をしています。年末には、クリスマスの親睦会があります。

去年（平成29年）は、12月9日に開催しました。行事の2週間前から参加申込みと寄付の品物を受け付けました。日本酒やワインなど飲み物の持ち寄りが多かったです。当日、午前中は参加者を4チームに分けてテニスの試合をして、午後には出前料理とビールで飲み会を始めました。試合は、一人あたり3ゲームずつする構成で、お互いの実力に合わせて勝敗は関係なしにみんなでテニスを楽しみました。飲み会の場面では、会員の中で楽器を弾ける人が伴奏して、歌ったり、踊ったりしながら隠れた能力を発揮しました。最後に

ビンゴゲームをして終わりました。その中で、新しい会員の紹介、個人的に出場したテニス試合で入賞した会員の報告など、1年間のニュースを伝えました。親睦会が終わると、みんな私の名前を覚えて呼んでくれて、一緒にテニスをしようと誘ってくれました。このような親睦会なら、老若男女を問わずみんなで楽しめると思いました。

韓国の一般的な親睦会は、お酒を飲みながらお互いの絆を深めます。食堂を予約してみんなが集まると、司会者が行事の目的や趣旨を説明して、一番年長者が一言挨拶して乾杯します。この時、みんなで一気に飲むのがマナーです。また順番で回りながら一言や乾杯を繰り返します。それが終わると、自由に席を替わりながら挨拶をして親睦を図ります。親睦会ではみんな飲みすぎるので、翌日には会のことを全部忘れてしまいます。このように、韓国の親睦会はお酒なしには考えられないものです。